



notebook

浜松市 農林水産ノート

平成 28 年 6 月号

- 農林水産情報発WG(ワーキンググループ)が
ほぼ毎月配信します
- ホームページやフェイスブックなど発信した情報
を中心にまとめます

— 今号の目次 —

特集『防潮堤で市民植栽を実施しました』

6月1日アユの友釣り解禁（気田川）

「浜松市農業経営塾」第1回ゼミを開催しました

奥浜名湖田園空間博物館で新規就農者パネル展実施中

はままつのおいしい農産物「三方原馬鈴薯」

農林水産ノートはじめました

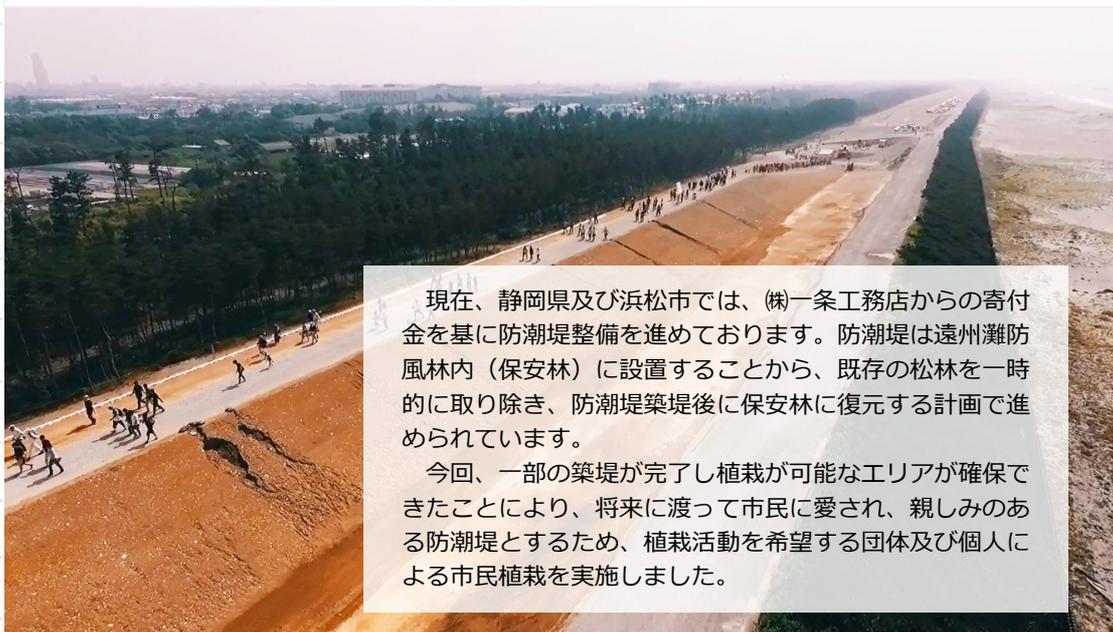


【今号の特集】 防潮堤で市民植栽を実施しました

防潮堤春季市民植栽を行いました！

日時：平成 28 年 5 月 29 日（日） 9：00 ～ 11：00

参加：12 団体（365 人）+個人（35 人）



現在、静岡県及び浜松市では、(株)一条工務店からの寄付金を基に防潮堤整備を進めております。防潮堤は遠州灘防風林内（保安林）に設置することから、既存の松林を一時的に取り除き、防潮堤築堤後に保安林に復元する計画が進められています。

今回、一部の築堤が完了し植栽が可能なエリアが確保できたことにより、将来に渡って市民に愛され、親しみのある防潮堤とするため、植栽活動を希望する団体及び個人による市民植栽を実施しました。

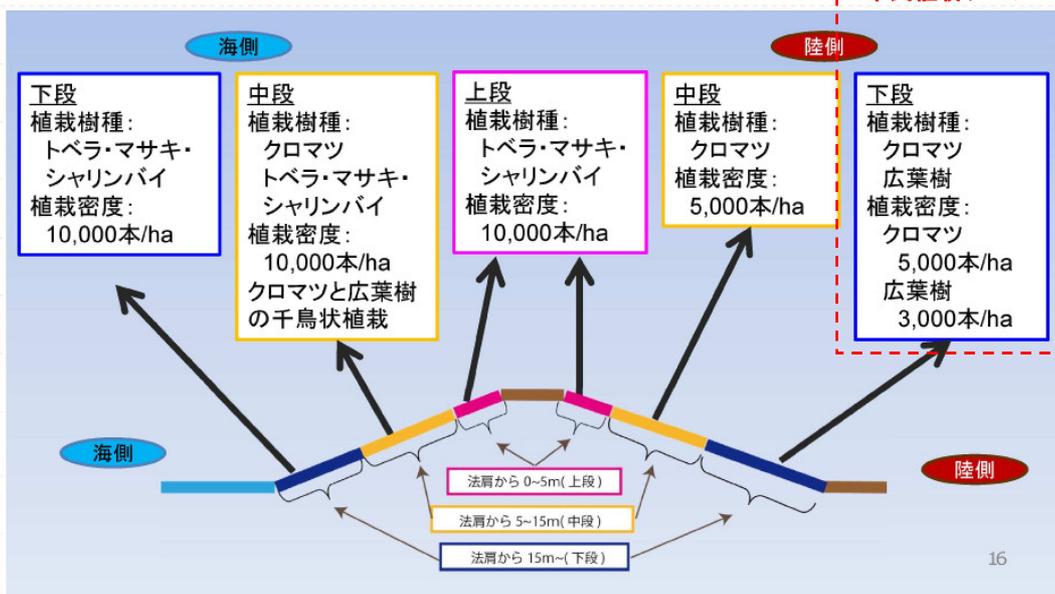
市民ゾーンの設定

現地は常に強風にさらされた痩せた砂地であることから、生育環境は非常に厳しい場所です。試験植栽を実施し、植栽検討委員会で有識者の意見を伺った結果、抵抗性クロマツをベースに広葉樹を織り交ぜた樹種が選定されました。

市民植栽は、急斜面かつ強風であり危険を伴う作業のため、最も安全な陸側の下段を市民参加ゾーンに設定しております。



植栽エリアについて



今回は、松くい虫に強い「抵抗性クロマツ」1,469本及びタブノキ、クロガネモチ等の広葉樹96本を800mの区間に植えました。

防潮堤の整備はこれからも続きます。皆様のご理解、ご協力をお願いします。

皆さんの植えたマツが健やかに育ちますように！！

(市民植栽の様子の一部を下記のURLでご覧いただけます)
<https://www.youtube.com/watch?v=eXfjAGHJIr8>



6月1日アユの友釣りが解禁しました（気田川）



毎年6月はアユ友釣りの解禁の季節。

今年も6月1日から浜松市内の天竜川、気田川、阿多古川などで、アユ釣りがスタートし、この日を待ちに待った釣り人のみなさんが早朝から竿を出しました。

昨年は天竜川・阿多古川の様子をホームページ等で紹介しましたが、今年は気田川での解禁日の様子取材してきました。

（昨年様子は、浜松市ホームページ「清流のまち浜松の魚心・水心」をご覧ください）

壮大な景色の『本流』、程よい木陰とせせらぎの音が気持ちの良い『支流』、どちらもたくさんの方が釣りを楽しまれていて、色々なお話を聞かせていただきました。

今年の気田川は、川の状態や遡上の具合がとてもいいそうで、みなさんとても期待をしているそうです。どのスポットでも、久々に顔を合わせる釣り仲間と談笑しながら楽しんでいるのが印象的で、大自然の中でこんな風に過ごす一日を毎年心待ちにされている気持ちが良く分かりました。



またこの日、天竜区春野町にある気田川漁業協同組合の事務所では、敷地内で川開きの儀式が行われ、集まった役員のみなさんで川の安全を祈願しました。

「今年は川の状態が最高に良くて、例年と比べても良い釣果が期待できそう。楽しみにしてくれている遊漁者も多いですし、こうしてたくさんの方が気田川に来てくれるといいです。」と、組合長の中谷陽一郎さん。

毎年県外からも多くの遊漁者が来られているようで、楽しみな一年になりそうですね。

■ H P 遊漁のご案内

浜松市 遊漁のご案内

■ H P 清流のまち浜松の魚心×水心

清流のまち浜松



「浜松市農業経営塾」第1回ゼミを開催しました



平成 28 年 5 月 25 日（水）浜松アクトタワー24 階の新日本有限責任監査法人セミナールームにて、「浜松市農業経営塾」第1回ゼミが開催されました！

浜松市農業経営塾は、次代の浜松の農業をけん引するリーダーを育成するために昨年度より始まった取り組みで、今年度は計 18 名が第 1 期目の塾生として全 8 回のゼミに参加しています。

先日開催した第 1 回ゼミでは、「農業ビジネスを成功させるポイント」をテーマに、アグリコネクト株式会社 代表取締役社長の熊本伊織氏による講義と、新日本有限責任監査法人 経営専務理事の大久保和孝氏も加わったのグループワークが行われました。

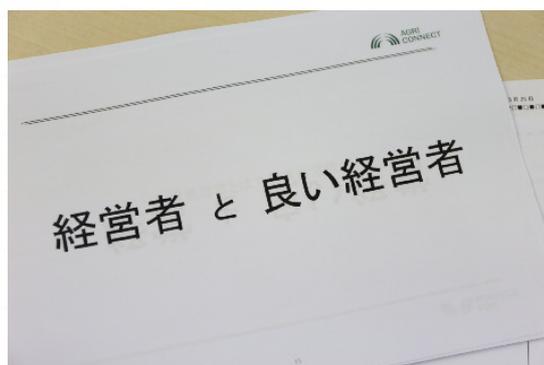
講義では農業ビジネスにおける経営理念の重要性などが説明され、講師の話当真なまなざしで聞いている塾生の姿が印象的でした。その後のグループワークでは経営理念を作り上げる作業を行いました。



「何のために経営をしているのか」「社員、地域に対する基本姿勢」などの項目を塾生同士で意見交換をしながら掘り下げていく作業では、塾生同士で活発な意見交換がなされ、講師にもたくさんの質問が寄せられていました。

農業経営に必要なノウハウを学ぶだけではなく、共に切磋琢磨し合う仲間づくりの場ともなっているこの農業経営塾、今まさに浜松市の農業の未来を担う農業者が育っています。

(第2期農業経営塾の参加者募集は平成28年度冬頃を予定しています)



奥浜名湖田園空間博物館で新規就農者パネル展を実施中です



みなさま、田園空間博物館をご存知でしょうか？
こちらは北区細江町にある、「景観そのもの」を展示物として見立てた少し変わった博物館です。
農村の美しい景観や豊かな自然、そうした地域一体を一つの「屋根のない博物館」と捉えたユニークな施設で、本当に素晴らしい景色を楽しんでいただけます。

この田園空間博物館の総合案内所では、今月 24 日まで『**新規就農者インタビューパネル展**』を実施中です。
浜松市役所本庁舎や三ヶ日図書館でも行ったこちらの展示は、浜松市内でがんばる若い農業者のみなさんをご紹介しますもので、「農業に従事する人が少なくなる中、市内でがんばっている若い方を知ることができた」「自然の中ではつらつと働く若者を応援したい」など、ご来場者のみなさまからもあたたかいメッセージをいただいております。



「おんな城主直虎」大河ドラマ館の開設が予定されている「みをつくし文化センター」や「気賀関所」などと隣接しているほか、館内の「旬彩市」では地場野菜も豊富に販売されているなど、色々な楽しみを味わっていただける施設です。

ぜひ、この機会に奥浜名湖田園空間博物館を訪れてみてください。

■パネル展実施期間・場所

平成 28 年 6 月 1 日～6 月 24 日

奥浜名湖田園空間博物館総合案内所

住所 浜松市北区細江町気賀 4585

田園空間博物館

■浜松市新規就農者インタビューホームページ

浜松市 新規就農者インタビュー



はままつのおいしい農産物「三方原馬鈴薯」



はままつのおいしい農産物を紹介するこちらのシリーズ。今回は、今が旬のじゃがいも「三方原馬鈴薯（ばれいしょ）」です。

きめが細かくてほくほくした食感が特徴の三方原馬鈴薯は、浜松市の三方原台地と湖西市の白須賀台地を中心に栽培が行われています。

三方原での栽培の始まりは、大正の初期までさかのぼります。かつては粘土質のやせた赤土で水の便も悪く、栽培できる作物が限られていました。そんな中で粗放な栽培に耐え、乾燥害に強い作物として導入されたのが馬鈴薯だったのです。

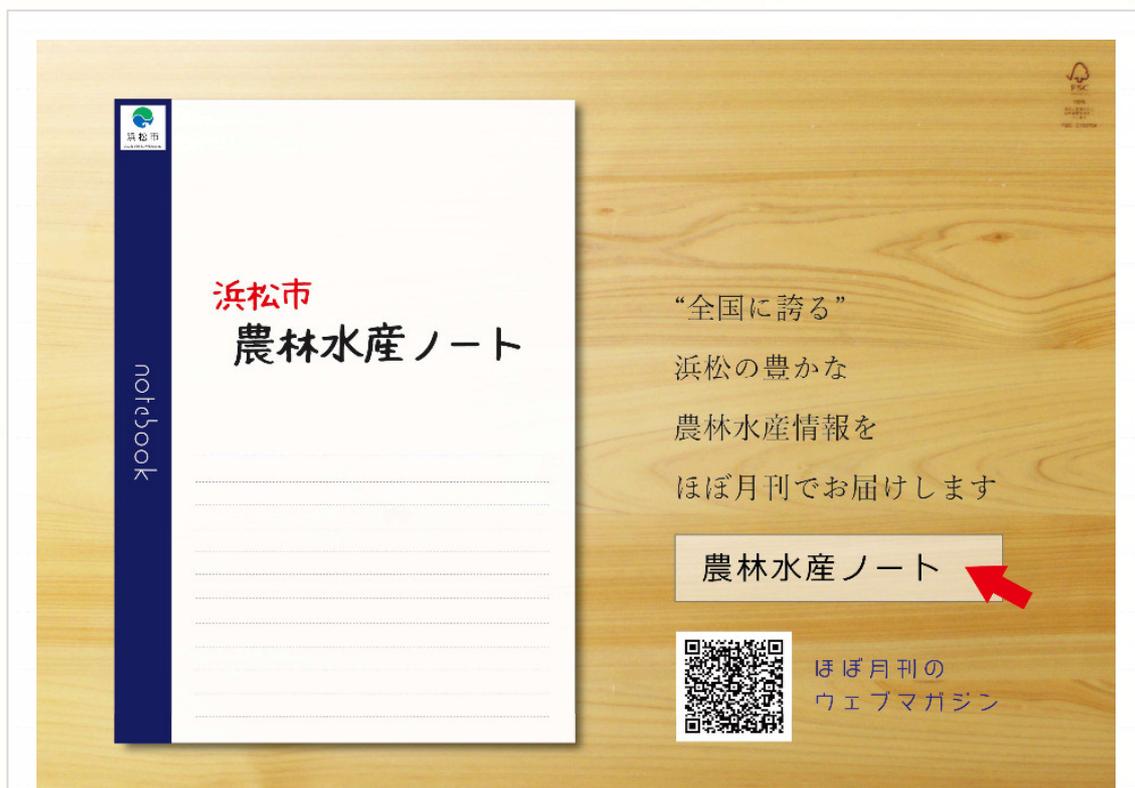
今では、輝きのある白い外観やホクホクとした食感の高品質なじゃがいもとして、全国でも非常に高い評価を得る“三方原馬鈴薯”のブランドになっています。



例年、6月をピークに7月下旬まで東京、大阪の市場を中心に都市部へ出荷されています。

食べた時の鼻に抜ける風味がとてもいいのも特徴の三方原馬鈴薯。ぜひ蒸かして皮ごとシンプルに味わってみてください。

「農林水産ノート」はじめました



ここで書くのもなんですが…

はままつの農林水産情報をまとめたウェブマガジン『浜松市 農林水産ノート』を発刊しました！

この『農林水産ノート』は、浜松市フェイスブック「いいら！」やホームページなどでご紹介したタイムリーな情報を中心にまとめ、月1回程度の頻度で発行するものです。

これまでフェイスブック利用者しか閲覧できなかった記事や、浜松市ウェブサイトの色々なページに掲載されていた情報をひとつにまとめ読みやすくしたもので、市の専用サイト（「農林水産ノート」で検索）に順次掲載していきます。

特集記事や、都市間連携をしている新潟市からの情報などをときどき加え、豊富で魅力的な農林水産物の情報を配信していきます。

スマートフォンやタブレットでも見やすい縦型のレイアウトとなっていますので、お時間のある時にぜひご覧ください。

※浜松市内の24の図書館に最新記事と上記のPOPを設置しています。